



Safe Crop Project News



No.13 2018年10月発行

「ベトナム北部地域における安全作物の信頼性向上プロジェクト（2016年～2021年）」は、北部地域2市11省において、「Basic GAP (Good Agricultural Practices)」を始めとする安全作物栽培の技術規範に沿った生産活動、消費者の安全野菜への信頼醸成、及び、多様なサプライチェーンの構築を支援することで、対象地域における安全作物栽培の振興を目指します。

第3回安全作物ビジネスフォーラムの開催

さる2018年9月12日に、女性と開発センターにおいて、ハノイプロモーションエージェンシー（HPA）、ハノイ市女性連合、ハノイ市労働者組合連合、Urban Economic 紙と共催で、第三回「安全作物ビジネスフォーラム」を開催しました。生産者とバイヤーに加え、消費者、政府関係者、農業投入材企業など約380名が参加する大イベントとなりました。今回のフォーラムの成果は次の3つです。

① 安全野菜のステークホルダーが集結

今回はHPAの発案で、上記三団体との共催となったことで、これまでプロジェクトが十分にアクセスできていなかったケータリング会社、女性消費者、ハノイ市関係政府機関の参加を得ることができました。新聞社編集者が司会を務めたパネルディスカッションでは、異なる立場の参加者による食の安全や安全作物の生産、流通に関する意見交換が行われました。また、プロジェクトの協力でHPAが開発したウェブサイトの紹介も行われるなど、今回のフォーラムは安全作物に関わるステークホルダーに広く意識啓発を図る機会となりました。



パネルディスカッションの様子

② 多様なマッチングの機会を提供

フォーラムには、プロジェクト対象市・省から20の生産者グループが参加しました。会場の外に設けられた展示スペースには、

プロジェクトが支援する生産者グループに加え、ハノイ市の食品関連事業者や農業資材関連企業、日本企業による展示が行われ、多くの参加者が訪れました。生産者とバイヤーのみならず、消費者と生産者、生産者と資材メーカーなど多様なマッチングの機会となりました。



ラウンドテーブルでのマッチングの様子

③ 確かに感じられたカウンターパートや受益者の成長

フォーラムは今回が三度目とあって、参加した各省の農業農村開発局のカウンターパートや生産者グループも、積極的に自分たちを売り込んだり、バイヤーと交渉したりしていました。フォーラムの翌週には、プロジェクトが把握しているだけでも3つのバイヤーが生産者グループを訪問するなど、マッチングの効果は表れ始めています。

他方で、プレゼン、パネルディスカッション、マッチング、展示と少々盛り込み過ぎたプログラムだったため、ラウンドテーブルでのバイヤーとのマッチングの時間が不足するなど、運営には課題を残しました。参加者からも、マッチングの時間が少ないとの多くの意見をいただいています。今回の教訓を踏まえ、12月の第4回フォーラムでは、参加者により効果的なマッチングの機会を提供できるよう、HPAを支援していく計画です。

セミパイロット省の紹介—タイビン省

今号より3回にわたり、2018年9月から本格的な活動を始動したセミパイロット省（タイビン省、ビンフック省、フートー省）を特集させていただきます。第1回目は北部でトップの水稲収穫量を誇り、近年では省内と周辺地域におけるインフラ開発が進む中、投資誘致も積極的に進めているタイビン省を紹介させていた

だきます。タイビン省は古くから灌漑農業が盛んで、食糧生産において重要な地域となっていることに加え、近年、冬作における野菜生産を推進しており、野菜栽培面積は約40,000haとハイズン省に並び紅河デルタの中でも最も広い面積となっています。今後、マーケットに繋がる産地を形成していくことが課題となって

おり、タイビン省では農地集積やサプライチェーンに沿った安全作物生産支援が進められています。以下、タイビン省の農業概況について、タイビン省農業農村開発局にレポートいただきました。

タイビン省は紅河デルタの南方に位置する、トンキン湾に面した海岸平野です。1市7郡で構成される省面積は1,586.4km²、人口は179万2千5百人（2017年）で、この内48%が農業に従事しています。

タイビン省では、近年、農地集積による消費と結びついた大規模な農産物生産が進められており、現時点で15,029.28haの農地集積が完了しています。この内、賃貸や土地所有権の譲渡によるものが5,263.28haを占め、残りの9,766haについては210組合が省内外の20企業を対象に消費と結びついた農産物の生産を行っています。一方、大規模生産特区の計画や設置において、農地の分散（1世帯当たりの所有面積の平均は0.2ha）が依然として課題となっています。

安全作物生産に関する政策としては、農業資材等を支援する施策が挙げられます。2017年の冬作においては、サプライチェーンに沿って安全作物を生産する農家を対象に、肥料等の農業資材の支援、及び、安全かつ効率的に種子、肥料、農薬を使用する技術工程の研修を実施しました。

また、タイビン省農業農村開発局では安全野菜生産地域マスタープランの一環として、2017年の冬作において、サプライチェーンに沿った生産モデル支援を実施しました。モデルは、Vu Thu 郡 Tan Phong コミューン、Quynh Phu 郡 Quynh Hai コミューン、Hung Ha 郡 Diep Nong コミューンの3ヶ所で、それぞれ



Hung Ha 郡の農地集積によるキャベツ生産モデル

8haにおいて、ブロッコリー、紫キャベツ、ホウレン草、ジャガイモ等の主要作物の生産を行いました。2018年～2020年の目標は、各郡・市において、省内外に供給できるサプライチェーンに沿った安全作物の産地を形成することです。

プロジェクトではタイビン省の対象グループとして、Quynh Phu 郡 Quynh Hai 組合と Kien Xuong 郡 Thanh Tan 組合を選定しました。今期の冬作より、省内外において販路を開拓していくことに向けて課題となっている、組合における品質管理体制の強化や共同出荷体制の構築、並びにマーケティング支援等を行い、持続的な安全作物生産モデルの確立を目指していきます。

JICAプロジェクトチームの紹介

先行プロジェクト「農産物の生産体制および制度運営能力向上プロジェクト（2010-2013）」からJICAプロジェクトに携わっており、本プロジェクトではアドバイザーを務めている Dr. Nguyen Thi Hang の自己紹介です。



経験共有省 Quang Ninh 省の安全野菜生産モデルにて

技術者としてフィールド実験に10年間、研究者として農業分野の研究に15年間従事してきました。研究者としては、作物に関する研究プログラム、新作物品種の評価に関する修士論文執筆、及び、米に関する博士論文執筆に従事しました。また、国家公務員として、農業農村開発省作物生産局食料作物課の副課長を6年間務めました。食品安全分野に関しては、“GAP適用による安全作物生産の発展”に研究と実務の両面から携わってきました。

長年農業分野に従事する中で、“農業は気高い職業である”という認識にたどりつきました。私は、私自身、そして、生産者、技術者、研究者、管理者、ドナー等立場の違いに関わらず農業分野に携わる全ての人が、国家の持続性、そして、人々の不可欠なニーズである食糧と食品生産に貢献できることは非常に誇り高いことであると信じています。生産した商品が安全な商品で、そして自分自身を含む私たち家族の“安全な食事”に繋がることを理解することは、大変に幸せなことです。営農を通じて金銭的に豊かになることは容易ではありませんが、1つ確かなことは、“農業が人々に幸福をもたらす”ということです。

皆様のご意見・ご感想をお待ちしております

JICA プロジェクト事務所

Room 201, Department of Crop Production, Ministry of Agriculture and Rural Development,
2 Ngoc Ha Str., Ba Dinh Dist., Hanoi, Vietnam
Tel/Fax : +84 24 3244 4373, Email: safecropproject@gmail.com